

コアプログラム研究会（平成29年度）

第12回

日時：2017年10月2日(水)13:30-16:30

場所：地球研セミナー室3・4

講演者：陀安一郎・藤吉麗・加藤尊秋・西村武司

開催趣旨

地球研の目指す学際・超学際の地球環境研究を推進するためには、多様なステークホルダーとの相互理解が必要不可欠です。第12回研究会では、ステークホルダーの考えや意見を抽出するツールであるアンケート調査をテーマとし、アンケート調査にかかわる様々な手法と得られる結果について講師の方々に紹介していただき、目的とする意見をステークホルダーから抽出するための最適なアプローチ法について議論します。

プログラム

14:00-14:30 陀安一郎・藤吉麗（地球研）

「コアプロジェクトの概要とアンケートの趣旨説明」

14:30-15:10 加藤尊秋（北九州市立大学）

「人々の選択と支払意志額」

15:10-15:50 西村武司（山陽学園大学）

「アンケート調査による消費者セグメンテーション」

15:50-16:00 総合討論

第11回

日時：2017年8月2日(水)13:30-16:30

場所：地球研セミナー室3・4

講演者：大西有子・杉山昌広・朝山慎一郎・菊池直樹

テーマ「スケールに応じたステークホルダー関与のあり方」

開催趣旨

さまざまな地球環境問題を解決するためには、グローバルからローカルまで、幅広いスケールにおける研究が必要です。地球研では、地球環境問題の解決に向けて、

ステークホルダーと共に研究の計画や実施を行うトランスディシプリナリー（TD）研究を推進していますが、研究課題や対象地域のスケールにより、ステークホルダーの問題に対する関与の度合いや知識は異なり、それに伴い、効果的なTD研究のためのステークホルダーとの連携のあり方も異なることが考えられます。本研究会では、地球規模での科学的理解と対策が不可欠な気候工学と、地域における管理が重要となる野生動物の保全におけるTD研究の事例を通して、異なるスケールにおけるステークホルダー関与のあり方について、参加者全員で議論したいと思います。

プログラム

13:30 趣旨説明 谷口真人（地球研）

13:40 大西有子（地球研）

「地理的スケールに応じたCo-designとStakeholder engagementの方法論：プロジェクト概要」

13:50 杉山昌広（東京大学）

「グローバルなco-productionの試み：気候工学を例に」

14:10 朝山慎一郎（早稲田大学）

「TDにおけるSH関与の二つの顔（合意形成と相互学習）：気候工学の研究課題のCo-designを事例に」

14:30 ディスカッション

14:50 休憩

15:10 菊池直樹（地球研）

「複数の顔を持つレジデント型研究者の方法論と多面的役割：ローカルなTDの試み」

15:40 ディスカッション

16:00 全体討論

第10回

日時：2017年6月26日(月)13:30-16:30

場所：地球研セミナー室3・4

講演者：近藤康久・大西秀之・福永真弓

テーマ「ズレとしまい」

開催趣旨

地球研の実践プロジェクトには、人間社会と自然環境の相互作用が機能不全に陥

っている具体的問題を研究対象として、人文・社会科学と自然科学の研究者がチームとなって、時限付きで研究に取り組んでいる、という共通点があります。しかし共同研究にあたっては、異なる分野の専門家のあいだや、専門家と実務家のあいだで、問題に対する理解や価値観に「ズレ」が生じ、問題解決の妨げとなることがあります。また、プロジェクトが終わりを迎えた後や、問題自体が「しまい」になった後にどうするのか、ということは、しばしば見過ごされがちです。そこでこの研究会ではプロジェクト、ことば、現場という3つの視座から、「ズレとしまい」について考えてみます。

プログラム

13:30 趣旨説明 谷口真人 (地球研)

13:40 近藤康久 (地球研)

「コアプロジェクトのズレとしまい、ずらし」

14:50 大西秀之 (同志社女子大学)

「地球環境をめぐるズレの課題と可能性」

15:40 福永真弓 (東京大学)

「しまう／たたむことを考える：社会化と自然化の双方向性に関する一考察」

第9回

日時：2017年5月25日(木)15:00-18:00

場所：地球研講演室

講演者：和田義英・Taher Kahil・Yusuke Satoh・石井励一郎・中静 透

IIASA-RIHN Seminar

プログラム

15:00-15:10 Introduction Makoto Taniguchi (RIHN)

15:10-15:40 IIASA's Water Program: Water Futures and Solutions (WFaS) Initiative

Yoshihide Wada (IIASA)

15:40-16:10 IIASA global hydro-economic modeling framework
Taher Kahil (IIASA)

16:30-17:00 The Community Water Model (CWATM) - Development of a community driven platform for global water studies

Yusuke Satoh (IIASA)

17:00-17:30 New perspectives on modeling for sustainable use of ecosystem services in Asia: Focusing on the importance of ecosystem types.

Reiichiro Ishii (RIHN) and Tohru Nakashizuka (RIHN)

17:30-18:00 Discussion

第8回

日時：2017年4月25日(火)13:30-16:30

場所：地球研セミナー室3・4

プログラム

13:30-13:40 谷口真人

今年度のコアプログラム研究会の進め方

13:40-15:00 陀安一郎

「環境トレーサビリティ」コアプロジェクトのねらいと、実践プロジェクト・研究基盤国際センターとの連携」

15:15-16:00

コアFSのプロジェクト形成について

コアFS責任者からの説明

近藤康久15:15-15:35

大西有子15:35-15:55

16:00-16:30 総合討論